

Case - 3

シェラトン都ホテル大阪

大阪府大阪市に佇む、マリオット・インターナショナルグループホテルの一つに数えられる高級ホテル。運営は近鉄グループである近鉄・都ホテルズが担う。用途に応じて使い分けられる数種類の宴会場や来賓室を擁し、宿泊に留まらず、パーティーや会議、MICE、ウェディングなど様々なシチュエーションにおいて国内外のお客様に上質なひとときを提供している。

【会社概要】 ※2023年3月31日時点

会社名 | 株式会社近鉄・都ホテルズ
本社所在地 | 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町6丁目1番55号
事業内容 | ホテル・旅館・飲食店の経営および運営の受託他
従業員数 | 1,914名
部屋数 | シェラトン都ホテル大阪 578室



CO₂ 排出量削減の取組概要



知る

『CO₂ 排出量削減の取組を考え始めたきっかけ・知った場面』／ 『脱炭素化の取組開始のきっかけ』

・「世界中のお客様をお迎えするホテルとして、環境問題への取組みを何かしら行っていかななくてはいけない」という思いがあり、また2023年に国連が「2025年を国際共同組合年とする」という旨の宣言をしたこともさらなる後押しとなった。

『脱炭素化関連情報の収集方法』

本部から情報が降りてくる（縦の情報連携）に加え、運営管理セクション同士で個別に連絡を取るなど（横の情報連携）している。例えば、あるホテルの取組を聞いてグループ内の他のホテルも取り入れた事例もある。



測る

『CO₂ 排出量可視化ツール導入状況』

導入していないが、検討している。
※現在は環境省が示す排出係数をもとに排出量算出



取り組む

『実施している排出量削減の取組の概要』

・フードロス削減の取組

食べ残しなどによりどうしても発生してしまう廃棄食品をどうにかしたいと、フードロス対策の取組として始めたのが、**動物園への廃棄食品の提供**。近隣の動物園のチンパンジーが、廃棄になってしまったレタスなどの野菜を食べている。

・宴会で提供する食事の個別調整

フードロス削減のため、宴席の主催者と事前に確認を行い、提供する食事の種類や量を変えている。

・全館LED化へ向けて対応中

客室及び執務室の照明をLED化し、排出量の削減を図っている。

・太陽光発電

宴会場の屋根に約1,200㎡、電池容量100kWの太陽光発電システムを設置。CO₂排出量の削減に取り組んでいる。

・屋上緑化

屋上に緑地を設ける取組を行っている。ブライダルの写真撮影にも使用されるなど、環境への貢献以外での効果も生んでいる。



屋上の緑地

・エコ清掃の実施

連泊の宿泊者に対して、清掃を行わずにゴミの回収等に留めるエコ清掃プランを用意している。※4泊以上の場合は衛生上の理由から清掃を行う。

・アメニティに関する取組

客室のシャンプーやコンディショナーは小分けではなく大きなボトルにすることでゴミを削減している。

・空調

CO₂排出量使用制限機能付き空調機をレストランや宴会場など12か所で導入。自動で最適な空調に調整される（※環気ダクトよりCO₂濃度を検出。外気ダンパー、排気ダンパーをコントロールしてCO₂濃度を一定に保つ）ようにしている。

- ・また、外気取入量が最小になるようにインバータ制御することで風力を抑制、電力消費の削減につながる制御機能のある空調機も導入している。



環気ダクトのCO₂計測器



CO₂の設定値を示すオペレータパネル

・清掃活動

ホテルのある「上本町ターミナル」周辺の清掃活動を行っている。環境保全に加え、地域コミュニティの発展支援の一環にもなっている。



清掃活動の様子



効果

『導入効果』

- ・2022年は太陽光発電によって、年間を通じて約**1,900 ~ 3,600kg/月**、合計で約**35,181kg/年**の二酸化炭素削減を実現している。
- ・エコ清掃の取組は、特に**海外からのお客様に評判が良い**。
- ・屋上緑化は、ブライダルの写真撮影にも使われるなど、**景観の面においても利点**を生んでいる。

—今後の取り組み—

- ✓ 今後の展望としてウェスティン、リッツカールトン等を含め、マリオット・インターナショナルグループとして、ブランドを横断した取組を実施していきたいと考えている。